

3R85 ダイニオン

調整方法と手順 - 医療従事者用資料 -

【3R85ダイニオン膝継手とは】



イールディング機能
 油圧機構による遊脚相制御
 デフォルトスタンス機構
 ロック機能付き
 サイクリングモード付き
 30mm径チューブ

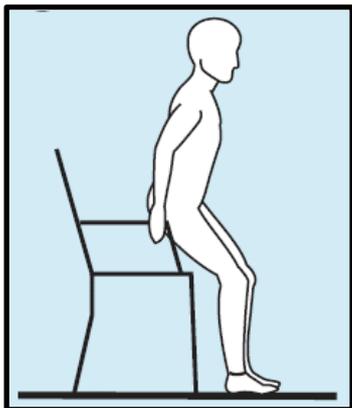
実長：216.5mm * 本体下縁～上部接続アダプターが被る間の長さ
 体重制限：45kg～100kg
 最大屈曲角：145°
 重さ：1,240g

【調整箇所】

マイナスドライバーで前面パネルを外す * パネルは紛失しないように注意してください。

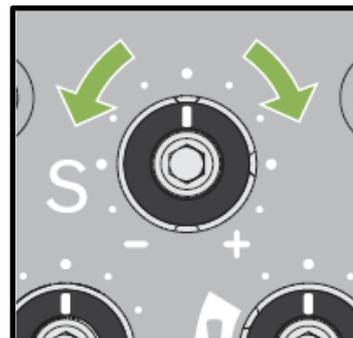
調整箇所		内容	工場出荷時の設定	
	A	「S」バルブ イールディング の抵抗	中央値 目盛りが上にある状態	
	B	「F」バルブ 遊脚相の屈曲抵 抗	中央値 目盛りが上にある状態	
	C	「E」バルブ 遊脚相の伸展抵 抗	小さい抵抗値 目盛りが上にある状態	
	D	下段バルブ 遊脚相への切替 え閾値	高い 目盛りが右にある状態	

1) イールディングの抵抗の調整（膝の曲がるスピードの調整）：『S』バルブ(A)

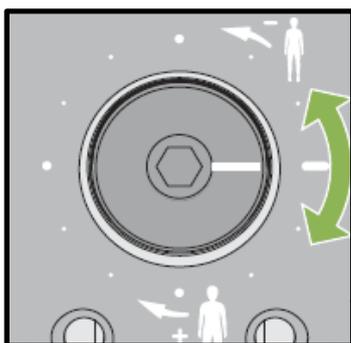


- ① 座位動作を行い、イールディング抵抗値を調整します。
曲がりが遅い(抵抗値が高い)場合
マイナス方向へ回す

曲がりが早い(抵抗値が低い)場合
プラス方向へ回す



2) 遊脚相への切替え閾値の調整：下段のバルブ(D)



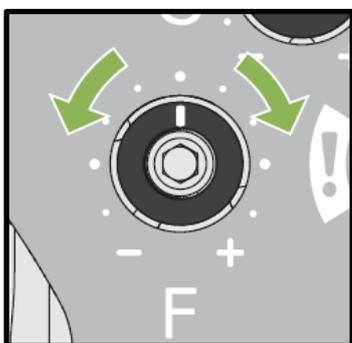
平行棒の中などで平地歩行を行います。
小股の早歩きから、大股のゆっくり歩きへ変化させながら歩き調整します。

- ① 遊脚相へ切替わらない場合
バルブを『反時計回り』に回す

切替閾値が高い状態から徐々に低くしていきます。
ダイヤル調整は小刻みに行います。（最大15°）

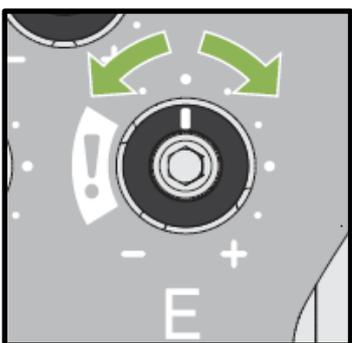
* 切替え閾値バッファは10分程度で安定します。
調整後は少し時間をおいて歩行を再度確認してください

3) 遊脚相の調整：『F』バルブ(B)、『E』バルブ(C)



平行棒の中などで平地歩行を行います。

- ① 過度に踵が跳ね上がり、歩行スピードに追従しない場合
『F』ネジを+方向に回す



- ② ターミナルインパクトが出る場合
『E』ネジを+方向に回す

* 予めターミナルインパクトの防止機能は付属しています。ユーザーが
気になる場合のみ調整を行います。

* 『!』マーク内の設定

伸展抵抗が弱いため膝の伸展が早くなり、遊脚相への切替え閾値に影響します。

切替えが起こりやすくなるため注意が必要です。

4) 坂道やスロープで確認



- ① 階段やスロープでイールディング抵抗の確認をします。
膝の曲がスピードが速い：イールディングが弱い場合
プラス方向へ回す

膝の曲がスピードが遅い：イールディングが強い場合
マイナス方向へ回す

- * 階段を下りる際、義足の足部が階段に半分かかるように置きます。
- * そのまま体重をかけてイールディングを機能させながら健側を降ろします。

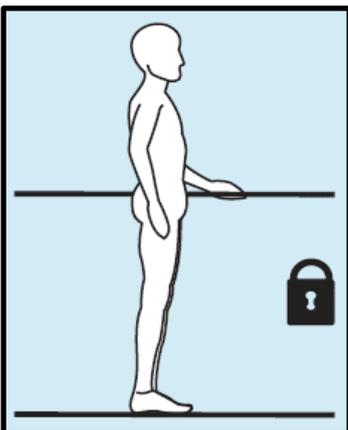
5) 繰返し確認

1)~4)を繰返し行い、設定値の確認を行います。

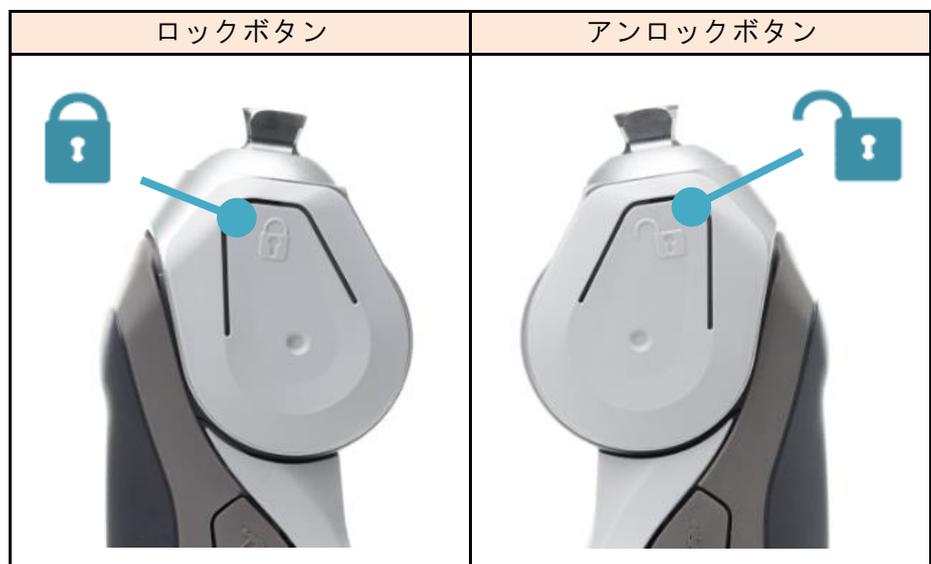
遊脚相への切替え閾値は、調整後10分程でバッファが安定します。平地路面を歩行スピードを変化させながら確認してください。

6) ロックの操作方法

膝継手が完全伸展位でロックします。

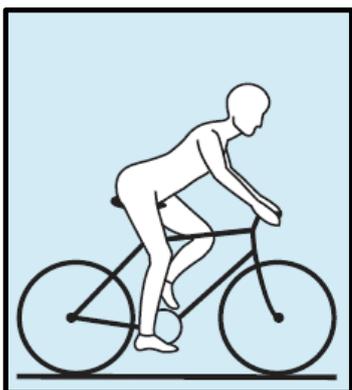


- ① 義足に荷重をかけ、過伸展位にします。
- ② 本体横のロックボタンを押します。
- ③ モードが変わるとクリック音が鳴ります。

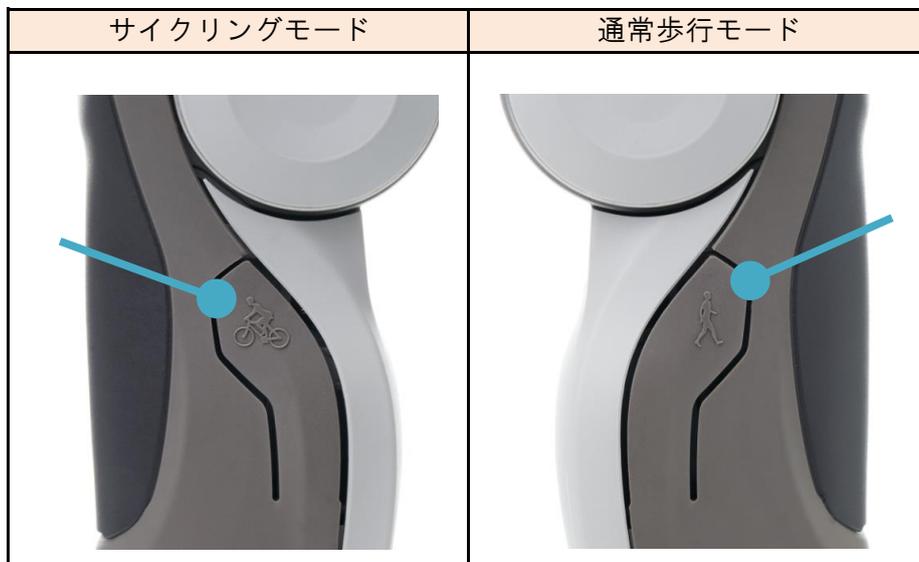


7) サイクリングモードの操作方法

イールディング抵抗（立脚相の屈曲抵抗）が小さくなります。



- ① 本体横のロックボタンを押します。
膝の屈曲角度に関わらず切替え可能です。
- ② モードが変わるとクリック音が鳴ります。



* サイクリングモードへ切替える際は、安全を確保して行ってください。